

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 29 日 (2006.6.29)

【公開番号】特開 2000-473 (P2000-473A)

【公開日】平成 12 年 1 月 7 日 (2000.1.7)

【出願番号】特願 平 11-139287

【国際特許分類】

B 0 1 J 31/28 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

C 0 7 C 67/00 (2006.01)

C 0 7 C 69/15 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 31/28 Z

C 0 7 B 61/00 3 0 0

C 0 7 C 67/00

C 0 7 C 69/15

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 11 日 (2006.5.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 (1) 触媒支持体と、(2) パラジウムと、(3) 酸と、(4) 少なくとも 1 種の酢酸触媒プロモータと、(5) 酢酸カドミウム、金、銅およびニッケルから選択される酢酸ビニル触媒プロモータの少なくとも 1 種とからなることを特徴とする酢酸ビニルの製造に使用する触媒。

【請求項 2】 支持対が多孔質シリカ、アルミナ、シリカ / アルミナ、チタニア、ジルコニアもしくは炭素からなる請求項 1 に記載の触媒。

【請求項 3】 酸が、ヘテロポリ酸から選択される強酸である請求項 1 または 2 に記載の触媒。

【請求項 4】 酸含有量が 50 重量 % までである請求項 3 に記載の触媒。

【請求項 5】 酢酸触媒プロモータがセレンウム、チタニウム、テルリウムおよび / またはバナジウム含有化合物から選択される請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の触媒。

【請求項 6】 酢酸触媒プロモータが酸化物、酢酸塩もしくはアセチルアセトン酸塩である請求項 5 に記載の触媒。

【請求項 7】 酢酸ビニル触媒プロモータが金である請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の触媒。

【請求項 8】 更に少なくとも 1 種の酢酸ビニル触媒コプロモータからなる請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の触媒。

【請求項 9】 酢酸ビニル触媒コプロモータがアルカリ金属塩もしくはアルカリ土類金属塩から選択される請求項 8 に記載の触媒。

【請求項 10】 酢酸ビニル触媒コプロモータが酢酸ナトリウムもしくは酢酸カリウムである請求項 9 に記載の触媒。

【請求項 11】 エチレンを酸素含有ガスおよび必要に応じ水と請求項 1 ~ 10 のいずれか一項に記載の触媒の存在下に反応させることを特徴とする酢酸ビニルの製造方法。

【請求項 12】 100 ~ 400 の温度および 1 ~ 20 bar g の圧力にて行う請

求項 1 1 に記載の方法。